





- 注1 国際規制物資の使用等に関する規則第7条第22項、第23項又は第24項の規定に基づき提出する全ての報告書につき、国際規制物資計量管理区域（以下「ACCA」という。）ごとに「0001」から欠番、重複のない一連の番号を記載すること。
- 2 計量管理規定で定めるACCAの符号を記載すること。
  - 3 別記様式第3の注2の例により記載すること。
  - 4 別記様式第4の注2の例により記載すること。
  - 5 在庫状況の変動が生じた日を含む月の始まりと終わりの年月日を記載すること。
  - 6 別記様式第4の注6の例により記載すること。
  - 7 別記様式第4の注7の例により記載すること。
  - 8 別記様式第4の注8の例により記載すること。
  - 9 別記様式第4の注9の例により記載すること。
  - 10 別記様式第4の注10の例により記載すること。
  - 11 別記様式第4の注11の例により記載すること。
  - 12 別記様式第4の注12の例により記載すること。
  - 13 イ 報告する減速材物質の重量が10桁を超えることにより「数量」の欄において複数行で報告する必要がある場合は、当該欄の2行目以降に「C」と記載すること。  
ロ 既に報告したデータを削除する場合は「A」と記載すること。
  - 14 在庫状況の変動が生じた年月日を記載すること。
  - 15 いずれか一方の欄に当該ACCAの符号を記載し、他方の欄には相手がある場合のみ相手先のACCAの符号を記載すること。
  - 16 次の表の左欄に掲げる原因又は事項に応じ、それぞれ右欄に掲げる符号を記載すること。

増	輸入	RF
加	国内受入れ（国内の他のACCAからの受入れ）	RD
	生産	PH
	再生	RH

又	事故増加 (予期しない発見による減速材物質の増加)	GA
	輸出	SF
は	国内払出し (国内の他のACAへの払出し)	SD
	損失 (通常発生する損失)	LS
減	消費	CL
	廃棄 (工場又は事業所において行われる廃棄を除く。)	WA
少	事故損失	LA
	試験研究用等原子炉設置者及び 発電用原子炉設置者のみに係る 事項	IU OU
	減速材としての使用の状況への移行 保管の状況への移行	

17 次の表の表の左欄に掲げる減速材物質の区分に応じ、それぞれ右欄に掲げる符号を記載すること。

重水又は重水素	HW
原子炉級黒鉛	GH
ジルコニウム	ZI
その他の減速材物質	OM

18 別記様式第5の注17の表の左欄に掲げる区分に応じ、それぞれ右欄に掲げる符号を記載すること。

19 減速材物質の重量をグラム単位で記載し、1グラム未満の端数は四捨五入すること。

20 別記様式第4の注24の例により記載すること。

21 別記様式第4の注28の例により記載すること。

22 別記様式第4の注29の例により記載すること。

備考1 この用紙は、日本産業規格A4のつづり込み式とすること。

2 この報告書は、ACAごとに別葉で作成すること。